

ニューヨークの夏

天理教ニューヨークセンター所長

福井 陽一 Yoichi Fukui

夏も盛りの8月に入ると、ニューヨークでは、日本の夏の雰囲気を楽しめる「夏祭り」イベントが、ほぼ毎週末、どこかで開催されている。ブルックリン区のジャパニビレッジでの夏祭りをはじめ、大手日系スーパーやレストランでのお祭りが賑やかに行われる。また、市内各地の公園では、サマーステージと題されるさまざまな無料コンサートが開催されている。その中心となっているのはセントラルパークで、ジャズやオペラなど幅広い分野のパフォーミングアートのコンサートが行われている。ニューヨーク市立図書館があるブライアントパークでのムービーナイトやパフォーミングアートのメッカ、リンカーンセンターでの無料イベントも人気がある。ニューヨークの夏は、街全体が活気にあふれ、楽しいイベントが次々と開催される特別なシーズンとも言える。

そんな楽しい雰囲気とは裏腹に、毎日流れてくるニュースはICE（アメリカ移民関税執行局）による不法移民逮捕の厳しい状況の報道が続いている。ニューヨーク市は、不法移民を保護する政策をとる「サンクチュアリー・シティー（聖域都市）」の1つとして知られており、連邦政府のICEによる逮捕や強制送還に協力しない方針をとっている。しかし、トランプ政権は、ニューヨーク市が不法移民の取り締まりを妨害していると主張して、ニューヨーク市とアダムズ市長を提訴するまでに発展している。

アメリカ第一主義を進めている現政権は、アメリカ国民は、自らの地域社会で安全を感じる権利があると表明し、「聖域政治家」がICEの勾留命令を無視することは、アメリカ市民を犠牲にして犯罪を犯した不法移民を保護し、地域社会に解放していると訴える。

不法移民は、アメリカ人が一般的に就労を忌避する業界に多く働いているようで、建設業や農業、飲食店やホテルなどのホスピタリティ産業に多くを占めていると言われている。業界にとっては、「必要不可欠な人材」として機能している側面があり、今回の摘発によって、作業が停止してしまうなどの影響が出始めたケースも報道されている。今のアメリカの混乱した状況は、日本の将来の姿を見ているようにも感じている。

インターフェイス平和の集い

8月5日、原爆投下80周年に合わせ、ニューヨーク立正佼成会センターで広島とオンラインでつなぐ「インターフェイス平和の集い」が開催された。諸宗教による祈りに始まり、広島平和記念式典の共同視聴、NY広島会名誉会長の講演が行われた。

諸宗教による祈りでは、仏教、キリスト教、ヒンドゥー教、イスラム教、ユダヤ教の祈りが続き、最後に日本の宗教を代表して天理教の祈りで締めくくられた。

現在ニューヨーク平和ファウンデーション（代表：中垣顕実法師）の主催による平和をテーマにした日本巡礼ツアーが行われている。9月21日の国際平和の日に合わせて、ニューヨーク天理文化協会での巡礼の様子が上映される予定になっている。争いの絶えない世界において、宗派を超えて、ニューヨ

ークから世界へ平和の祈りやメッセージを響かせていきたいと思う。

ニューヨーク青年会ブラジル訪問

7月9日から16日にかけて、ニューヨーク地区青年会の7名がブラジル青年会総会に参加した。昨年おちばで開催されたインターナショナルひのきしん隊で繋がりができ、今回の訪問が実現した。青年会総会、伝道庁月次祭、においがけ巡回などに参加した。においがけ巡回では、伝道庁から車で2時間ほどのサウカウロス地区で2泊しながらの活動となった。ブラジル青年会の勢いに刺激を受けたり、ニューヨーク青年会の活動を紹介したり、お互いに切磋琢磨する良い機会となったようだ。参加者は、「ブラジル青年会の誠実の姿がとても心に残った」「伝道庁の皆さんがとても温かく迎えてくれ、巡回では全員で見送ってくれて、まるで家族のような雰囲気に感動した」「大勢の人々が伝道庁に寄り集う姿が印象的だった」「青年会員同士が膝を交えてじっくりと話ができて、良い機会となった」などの感想を述べている。今回の訪問を糧に、今後のニューヨーク青年会の活動がますます充実することを楽しみにしている。

ブラジル訪問に先駆けて、ニューヨーク青年会では、ニューヨークセンターに宿泊しながら2日間のひのきしん隊イベントを開催した。主なひのきしんは、センター神殿の上段を参加者全員でサンディング（研磨）する作業だった。ニューヨークセンターは、2027年に創立50周年を迎えるため、その準備の一環としての意味合いもあった。参加者からは、「このような形でセンターに恩返しができることにとても感謝の気持ちでいっぱいになった」「ひのきしんをしながら自分の体が健康であり、体を使って役に立てることに改めて感謝の思いが込み上げてきた」などの喜びの声が聞かれた。

その他、青年会では毎年ファミリーBBQを主催している。センターを会場に、子供から大人まで大勢が参加している。今年は、BBQを楽しみながら、鼓笛や雅楽、柔道のデモンストレーションも行われ、楽しい一時を過ごした。メンバーはこうしてセンターの内容充実にも、大いに貢献してくれている。



ブラジル伝道庁の前で